

広報

大山の恵みを受け継ぎ、
元気な未来を拓くまちづくり

だいいせん

3
March
大山町広報
2010 No.77



主な内容

きょういく通信	2 ~ 7
うるおい通信	8
診療所待合室・人権のつぼ	9
力になりませ！鳥取県関西本部	10
まちの話題	11 ~ 13
お知らせ	14 ~ 18
大山チャンネル番組表	19

交通安全の願いを込めて

巡回バスにラッピングバスがお目見えしました。車体には、自動車に安全に乗って頂くための意識を高めるイラストが描かれました。

装いも新たなった巡回バスに乗って、町内の春を見つけに出かけてみませんか？

11 ページに関係記事があります。

すべての子どもにも本の楽しさを

子どもの読書アンケート結果報告

教育委員会では、平成十八年に策定した「大山町子どもの読書活動推進計画」を受けて、家庭・地域、教育機関、行政が連携して子どもの読書活動を支援していくため、毎年「大山町子どもの読書活動推進委員会」を開いています。

今年度は、家庭における子どもの読書の実態を把握することで、読書習慣の定着につながる手立てが見えてくるのではないかと考えから、アンケート調査を行い、集計結果から見えてきたものを考察しました。

読書は好きだけれど・・・

『あなたは、本を読むことが好きですか?』という質問(表1)に「好き」「どちらかといえば好き」と回答した中学生は83・1%、小学生は90・2%で、全体として大山町の子どもたちは読書が好きだと言えます。

一方『この一か月間に本を読みましたか?』という質問に対して「読まなかった」と回答した中学生は25・5%、小学生は9.5%でした。さらに、読まなかった子ども

に着目し「読みたいのに読めなかった」と回答している子どもたちに、その理由を尋ねたところ(表2)中学生では「本が家になかったから」「小学生では「何を读んでいいのかわからなかったから」「近くに図書館がなかったから」

また、学校保護者に対する『ご家庭でお子さんが自主的な読書をしていますか?』という質問(表3)では「あまり読書をしていない」という回答が多く、学年が上がるほど家庭で本を読

む姿が見られなくなるようです。大山町の子どもたちは、読書は好きなのに家庭ではあまり読書をしないう実態があり、家庭でも本を手に取りやすいような環境を整えたり、声かけをしたりすることが必要です。

実施時期 平成21年9月

☆対象者

- ① 3歳・5歳児の保護者
- ② 小学校2年・4年・6年生の児童と保護者
- ③ 中学校2年生の生徒と保護者

☆アンケート調査の回収率

- (保育所保護者) 81・3%
- (児童・生徒) 99・2%
- (学校保護者) 80・6%

表1

〈児童・生徒〉あなたは、本を読むことが好きですか?

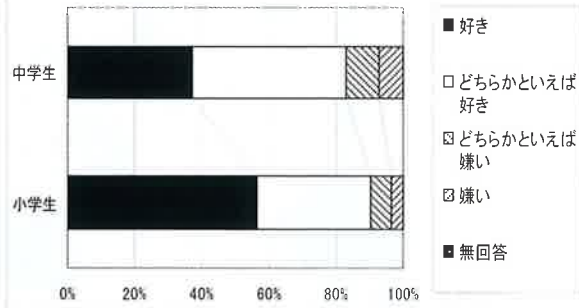


表2

〈児童・生徒〉読みたいのに読めなかったのはなぜですか?

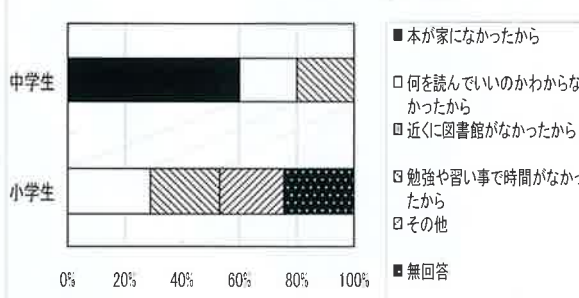
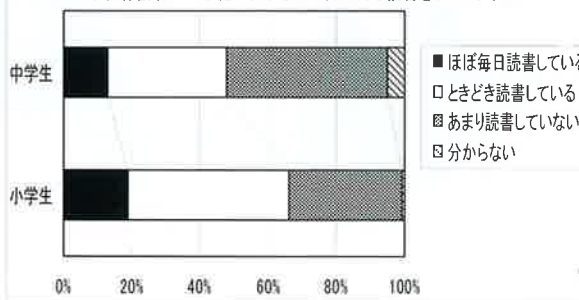


表3

〈学校保護者〉ご家庭でお子さんは自主的な読書をしていますか?



▶本がいっぱいうれしいな(図書館で)



広がる 絵本の読み聞かせ

読書をすすめる 家庭での働きかけ

3歳・5歳児の保護者に対する「家庭での読み聞かせ」についての質問(表4)では、週に1・2回以上読み聞かせをしている家庭が約9割を占めています。「読み聞かせは何歳くらいまで必要だと思いますか?」という質問(表5)では、「小学校入学まで」という回答が一番多くなっています。一方で「その

他」と答えた保護者の多くは「読んで欲しいが間は、いつまでも読んでやりたい」と回答しており、自主的な読書が始まるまでは子どもに寄り添う姿勢が多く見られます。読み聞かせの浸透とともに、家庭での取り組みも徐々に高まっていることがうかがえます。

保護者に対する「お子さんの読書をすすめるためにしてきたことは、なんですか?」という質問(表6)では「子どもを図書館へ連れて行く」「読み聞かせをする」「子どもの周りに本を置く」など、子どもの年齢に応じて、いろいろな働きかけをしている家庭が多いことが分かりました。

表4

＜3歳・5歳児保護者＞ご家庭でお子さんに絵本の読み聞かせをしていますか?

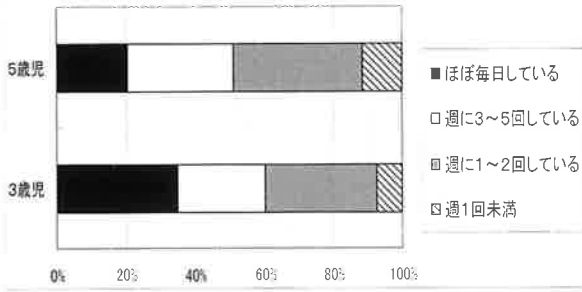
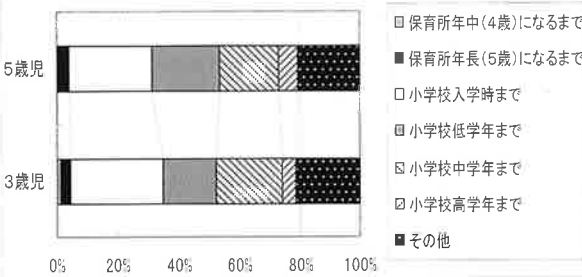


表5

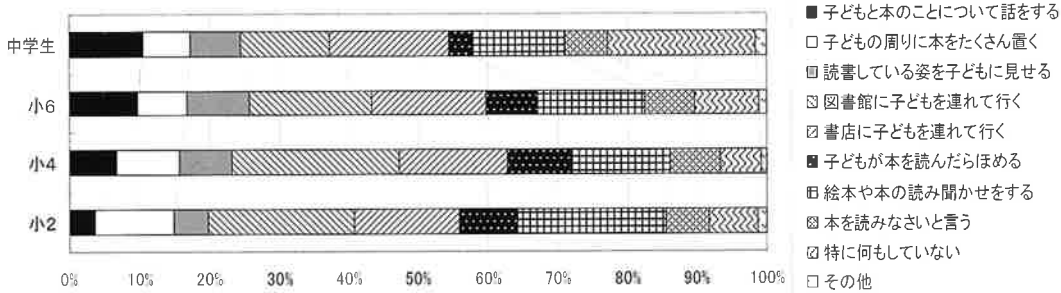
＜3歳・5歳児保護者＞お子さんへの絵本の読み聞かせは何歳くらいまで必要だと思いますか?



▶ 赤ちゃんの頃から読み聞かせ

表6

＜学校保護者＞お子さんの読書をすすめるためにしてきたことは、なんですか?



本のある暮らしを
習慣づけるために

調査結果から、小・中学校、保育所、図書館など関係機関の様々な取り組みや3年間の文部科学省委託事業によって、家庭での絵本の読み聞かせは確実に広がり、大山町の子どもたちが本に親しみながら成長している様子が見えがえます。一方、子どもがより手に取りやすい身近なところに本がある環境を、大人が工夫していく必要性も感じます。

子どもの生活の基本は『家庭』です。本のある暮らしを子ども時代に習慣づけるには、家族が温かく寄り添い働きかけることが欠かせません。

子どもの心を育む読書の芽を、しっかりと見守り育てるために、大人が協力して取り組みを進めていきたいと思えます。

アンケート結果の詳細は、図書館で閲覧できます。図書館ホームページにも掲載しています。

雪に感動！ スキー体験に 民泊家庭のぬくもり

～大山町・嘉手納町
人材育成交流事業～

旧大山町と沖縄県嘉手納町が、ともに国体のソフトボール会場になったことが縁で、毎年夏と冬に児童が相互に訪問しているのがこの事業。22回目の今回は、嘉手納町の児童16人（小学5年生）が1月26日から29日まで3泊4日の日程で町内を訪問。同級生の8家庭にホームステイをしながら、スキー体験や学校訪問を通して交流を深めました。

26日昼前に那覇空港を出発した訪問団は、午後5時半ごろ大山公民館に到着。関係者の歓迎を受けて民泊家庭の児童、保護者と対面。初めての出会いにお互い少し緊張しながら、あいさつを交わし、交流がスタートしました。

27日、嘉手納町の児童達は、まず大山西小学校を訪問しました。大山西小学校6年生と嘉手納町児童による沖縄県の踊り「ケンサンピン」の共演、大山西小学校5年生による「カラス天狗伝説」の披露があり、お互いに交流を深めました。その後、妻木晩田遺跡、水木しげるロードを訪れました。

28日は、嘉手納町の児童達が待ちに待ったスキー教室。指導員から滑り方を教わりながら、民泊家庭の児童とともに初体験のスキーを堪能しました。

最終日には、仲良くなった大山町児童たちと今夏の再会を約束し、元気良く帰路に着きました。



▲「カラス天狗伝説」披露（大山西小）



▲雪のかたまりの上で



▶お別れ式にて

学校防犯用に さすまた寄贈

このほど小中学校の防犯の取り組みに役立てるよう、米子市河崎の大同警備保障（船田邦昭社長）から、さすまた6本を寄贈していただきました。同社は今年設立25周年を迎えることから記念事業として寄贈したもので、これにより、町ではすべての小中学校と保育所に防犯対策として、2本ずつのさすまたを配備することができました。

1月13日（水）には、名和小学校の防犯訓練実施にあたり、船田社長から同校國頭徹夫校長にさすまたが手渡されました。そして早速、教職員が不審者事案に備えたさすまたの使い方などを教わりました。



▶防犯対策に活用を（名和小）



「子ども見守り隊」隊員を 募集しています

この「見守り隊」は、小中学生の安全のため、下校時にあわせて近所を散歩したり、通学路周辺の畑などで作業したりしながら、自分の都合にあった無理のない見守り活動をしていただくものです。ボランティア隊員の方にはロゴ入りジャンパーと帽子を着用してもらいます。

下校時に合わせて活動ができる方ならどなたでも、いつでも隊員の登録をしていただけますので、多くの方のご支援・ご協力をお願いします。

◆申し込み、問い合わせ先

教育委員会事務局
学校教育課

☎0859・54・5211

平成22年度「大山カレッジ」生徒募集

「大山カレッジ」とは、大山町オリジナルの大人のための新しい学習の形です。毎週木曜日の午前中に中山中学校の教室で様々な学習をしています。新しい出会いと自分を再発見する場として、たいへん好評です。あなたも一緒に学んでみませんか。

大山町に在住の概ね50歳以上で、1年間を通して中山中学校へ通える方ならどなたでも入学できます。

[学習場所] 中山中学校

[定員] 20名程度

[学習日時] 22年4月～23年3月の毎週木曜日
8時25分～12時ごろ

[費用] 1カ月につき1,000円

[入学日] 4月15日(木)

[時間割と学習内容] (活動は学校の学習時間と学期に合わせてます)



	時間	第1木曜	第2木曜	第3木曜	第4木曜
	8:25～	登校・朝読書・朝礼			
1時間目	8:50～	国語	英語	数学	芸術
2時間目	9:50～	国語	英語	数学	芸術
3時間目	10:50～	体育	社会	音楽	保健
	11:40～	掃除・終礼			

※月に1～2回4時間授業を行うことがあります。(終了時刻13時ごろ)

【国語】古典文学と正しい日本語を学ぶ【数学】中学校レベルの数学を楽しみ脳の活性化をはかる【社会】郷土に関する歴史や文化などを学ぶ【英語】日常英会話を学ぶ【芸術】絵画・書道などを学び芸術の醍醐味を味わう【保健・体育】病気や介護の予防、体力づくりの学習と実践をする【音楽】合唱や合奏などを通じて音楽を楽しむ
(学習日時、学習内容は変更になることがあります)

詳しくは、各公民館にある平成22年度「大山カレッジ」生徒募集要項をご覧ください。入学申し込み締め切りは3月31日(水)です。

◆問い合わせ先・・・中山公民館 ☎0858-58-2334

第8回 大山学講座のお知らせ

講演会 「江戸時代の大山寺」

古くから天台宗の一大拠点として栄えてきた大山寺は、江戸時代には3,000石の寺領をもつ中国地方屈指の大道場として隆盛を誇りました。

今回は大山寺の寺領、寺院の構成、鳥取藩との関係など「江戸時代の大山寺」について講演会を行います。

日	時	3月13日(土) 午後1時30分～3時
場	所	大山公民館(大山町末長269-1)
講	師	県立公文書館 県史編さん室 室長 坂本敬司 氏
そ の 他		申し込み不要、どなたでも参加できます。
問い合わせ		社会教育課文化財調査班 ☎54-5212 名和公民館 ☎54-2688

古代の魅力発見プロジェクト講演会

「人を惹きつける景観整備の基礎」(参加無料)

遺跡を楽しんでもらうためには、どのような整備が必要か? 妻木晩田遺跡、向山古墳群、上淀廃寺跡の三つの国史跡の一体的な活用を、景観整備の観点から問い直し、地域活性化につなげる方策を学びます。

日	時	3月19日(金) 午後1時30分～3時
会	場	鳥取県西部総合事務所 講堂
講	師	堀 繁 氏 (東京大学アジア生物資源環境研究センター教授)
演	題	「人を惹きつける景観整備の基礎 ～弥生から白鳳までの史跡の魅力発見～」
主	催	鳥取県・米子市・大山町の各教育委員会
定	員	180人(先着順)
問い合わせ		鳥取県教育委員会事務局 妻木晩田遺跡事務所へFAX
申し込み先		またはEメールでお申し込みください。 ※申し込み締切 3月12日(金) 電 話 0859-37-4000 FAX 0859-37-4001 Eメール mukibanda@pref.tottori.jp

大山寺僧坊跡発掘調査成果Ⅲ

J-14地点の造成地業について

前回は、寂静山J-14の入口についてお話ししました。今回は、僧坊跡の平坦面がどのようにして造られているのか、お話ししたいと思います。

J-14の僧坊跡は、長辺が約37・5m、短辺約29・1mの長方形をしています。山の自然地形に、このような大規模な平坦地を造るには、かなりの土木工事が必要だったと考えられます。それを調べるために、この平坦地の中心から十字形に掘り下げて、調査しました(図1)。

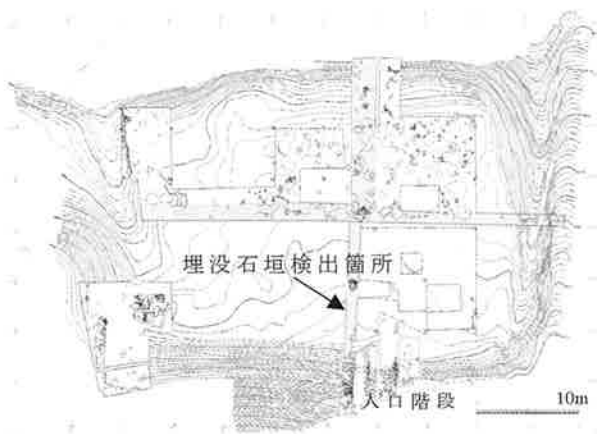


図1

埋没石垣について

その結果、山側(南側)では、高低差約5m、約60度の傾斜をつけた切土を行い、平坦地の真ん中辺りから北側では、その削り取った土を盛っていることを確認しました。(図2)その盛土の厚さは、最大で3m以上に達し、その中から石垣を検出しました。(写真1)石垣の規模は高さ約1.3mで、自然石を7〜8段にわたり積んでいました。

石垣は、本来その造成地の法面を強化するために施されるものですが、それが地中から検出されたのはどうしてでしょうか？



写真1

これには二通りの可能性が考えられました。一つは、何回かの造成が行われ、その過程で石垣が埋まったと考えられるもの。もう一つは、頑丈な盛土造成を行うための工法と考えるものです。

前者は、近世城郭ではよく確認され

るもので、城主交代をきっかけに、城の配置(縄張り)を変えてしまい、もとの石垣を埋めて、その外側に新たな石垣を組むというものです。有名な例は大坂城です。現在の大坂城は基本的には徳川家の大坂城であり、その地下には豊臣家の大坂城が存在します。後者の例には、京都市の鳥羽離宮があり、軟弱地盤に石垣を組み、その中に石を入れて基礎工事を行っています。

今回の調査では、埋没石垣のさらに北側の下層にも同じような石垣の上端部が検出されたこと、その盛土内部に、埋没石垣に対応する生活面が検出されなかったことなどから、後者の可能性が高いと判断されました。

このように考えると、寂静山地区の整然と区画された僧坊群は、自然地形を変える大規模な土木工事によって造られていたことが想像できます。

古記録を参考に

大山寺阿弥陀堂の棟札には「古常行堂、享祿二年洪水にておわんぬ。然る間天文六年、新地を撰び地形を曳ぎ改め、天文廿一年造立す」と記されています。この「地形を曳ぎ改め」は、まさにこのような大がかりな造成工事で

あったことを示すものと考えられます。大山寺僧坊跡には、合計160箇所前後の平坦面が確認されていますが、それらは規模の大小はあるものの、このような土木工事で造られたことが分かりました。僧坊跡の平坦面は、中世に隆盛を極めた大山寺の記憶を最も明瞭に、今にとどめています。

(社会教育課文化財調査班)

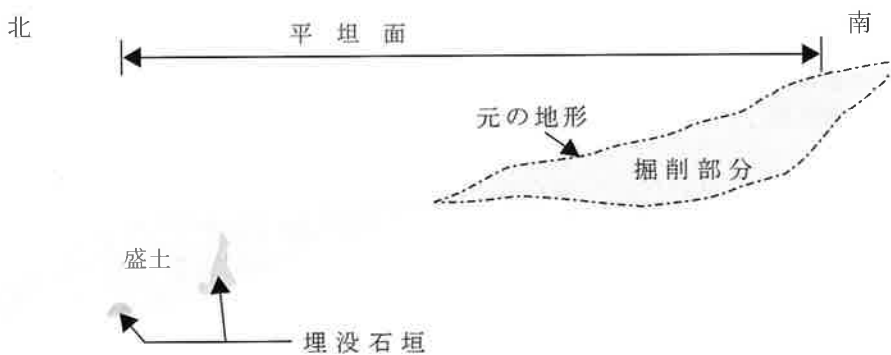


図2 寂静山J-14南北断面造成模式図



クイリング教室作品展の様子

展示コーナーに
 作品を飾って
 みませんか？

町立図書館の展示スペースに飾る作品を随時募集しています。本年度は「中山公民館サークル色紙絵展」や「名和公民館サークルクイリング教室作品展」などを行っています。その他にも書道・写真・俳句などの展示を行っていますので、ご希望の方はぜひお申込みください。

お問い合わせは、町立図書館まで
 ☎0858・49・3010

図書館行事

「インターネットを活用した調べ方講座 ～医療・健康情報のさがし方～」

日時：3月14日（日）14:00～16:00
 場所：名和公民館コンピュータ室
 内容：インターネットを活用して医療情報・健康情報の検索します。

定員：10人
 対象：パソコンで文字が打てる方

「おはなし図書館」

日時：3月13日（土）14:00～14:30
 場所：町立図書館本館
 内容：渡辺清美さんによる読み聞かせをします。

「ちいさなおはなし会」

日時：3月20日（土）11:00～11:30
 場所：大山公民館

司書のおすすめの本

『ゲゲゲの女房』
 武良布枝／著
 実業之日本社



「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげるさんの妻である武良布枝さんが、妻の視点で夫婦の半生を振り返った作品です。赤貧時代の辛い話や情けない話も描かれていますが、困難を思わせないような表現に、読んでいるうちに自然と元気づけられ、温かい気持ちになります。春からはNHKの連続テレビ小説で放映されます。その前にぜひご一読ください。（な）

新着図書



のご案内

一般・文学

- ★アバター/山田悠介
- ★円空流し/松田悠八
- ★約束の河/堂場瞬一
- ★遥かなる水の音/村山由佳
- ★猫ヲ祭ル/千田佳代
- ★桜下の決闘/犬飼六岐
- ★夜のだれかの玩具箱/あさのあつこ
- ★リメイク・シックスティーン/豊島ミホ
- ★犬はいつも足元にて/大森兄弟

その他

- ★「眼力」をつける読書術/吉岡友治
- ★あの人の最期のことば100/秋庭道博
- ★『坂の上の雲』と日露戦争/山川出版社
- ★井沢元彦の戦乱の日本史/井沢元彦
- ★あなたは、なぜ太ってしまうのか？/ハリー・ポピン
- ★まいにち薬膳/北山彩子
- ★遊遊さかな事典/小西英人

郷土

- ★カラーひよことコーヒー豆/小川洋子
- ★わたしは働くウーマン/安部結貴
- ★夫婦口論/三浦朱門
- ★創作の拠点/森村誠一
- ★人形のBWH/丸谷才一

児童・絵本

- ★わんわんおかお/とよたかずひこ
- ★ことり/まどみちお
- ★エルマーのとくべつな日/デビッド・マッキー
- ★ぼくもだっこ/西條剛央
- ★ひつじのロッセ/アヌ・ストーナー
- ★かわうそ3きょうだい/あべ弘士
- ★王子さまの耳はロバの耳/岡田淳
- ★みかんのひみつ/鈴木伸一
- ★しょうぼうしょは大いそがし/ハネス・ヒュトナー
- ★秘密のマシン、アクイラ/アンドリュウ・ノリス
- ★すごいぞプリンナちゃん/いとうひろし

診療所
待合室

ロコモについて

大山口診療所 久野淑枝

骨、関節、筋肉など身体を動かす仕組みを運動器といいます。入院を必要とする運動器障害は、50歳以降の中老年に多発しており、入院患者の年齢では70歳代が最も多く、骨粗鬆のために脆くなった骨の骨折、脊椎障害、変形性関節症が多くなっています。

このことは、私たちの骨格はそのまま使ったのでは、80歳まで健康な状態を維持できないことを示しています。

運動器の障害によって介護が必要な状態や要介護リスクの高い状態を、ロコモティブシンドローム（運動器症候群、以下「ロコモ」といいます。

ロコモーションチェック

運動器の障害は、初め痛みや歩行困難などの症状が無い時期があります。まずは、次の自己チェック項目で自分の状態を確認しましょう。

①片足立ちで靴下がはけない②家の中でつまずいたり滑ったりする③階段を上るのに手すりが必要である④横断歩道を青信号で渡りきれない⑤15分くらい続けて歩けない、などです。これらの項目が一つでも該当すれば「ロコモ」の心配があるといえます。

ロコモーショントレーニング

運動器の健康は手足を使うことで維持されています。弱い部分がある場合でも、局所のケアを行い、痛みが増すことは避け、障害のある部位への負荷を小さくしながら、全身としては可能な限り動くことです。基本となるトレーニングとしては、

- ①支えを使用した開眼片足立ち②支えを使用した椅子からの立ち上がり（スクワット）などです。目安としては①を1分間（1日3回）、②を5〜6回（1日3回）の繰り返しです。

その他、腰痛に対する腰痛体操、変形性膝関節症に対する大腿四頭筋訓練などの治療トレーニングもあります。

健康寿命をのばすために、いつまでも自分の足で歩ける体がとても大切です。「ロコモ」にならない生活を心がけて下さい。

人権のつぼ 56

大山町人権交流センター TEL 0859-54-2286
大山町茶畑1077-3 FAX 0859-54-2413

アイヌの人びと

○はじめに

人権問題にはさまざまなものがありますが、私たちにはあまり身近に感じないもののひとつに、アイヌの人びとの人権問題があります。

○おかれている現状

1999年（平成11年）の北海道による調査では、北海道に居住するアイヌの人びとは23767人でした。この人数を見て「少ない」と思われませんか。この人数には、いまだにあとをたたない差別によって、自分が「アイヌである」と言えなかった人や、さまざまな理由から北海道外に移住した人は含んでいないのです。そこには、アイヌの人びとがおかれた厳しい現実が反映されているのです。

○歴史のなかで

アイヌの人びとの問題を考えるとき、独自の文化を持ち、社会を形づくってきたアイヌの人びとに、日本人に同化するよう同化政策を強制してきた歴史があります。

1899年（明治32年）に「北海道旧土人保護法」を制定し、

伝統的に所有していた土地を取り上げ、アイヌ語などアイヌ文化を禁止し、日本人になることを強制しました。しかし、同化政策を進めながらも、学校や地域社会、就職、結婚などにおいては、平然と差別が行われてきました。

このような差別の解消をめざす運動の成果として、1997年（平成9年）に「北海道旧土人保護法」が廃止され、新たに「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」が制定され、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される社会の実現への取り組みが始まりました。

参考図書

知っていますか？

アイヌ民族 一問一答

上村英明著

解放出版社



◆問い合わせ先

人権推進課

☎ 0859・54・2286